

平成31年度 施設としての自己評価

長崎 おひさまの森保育園

平素は長崎おひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというとできていなかった 【2】どちらかというとできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
●保育内容(今年度の重点)		
絵本の選定	4	歳児ごと、各発達に応じた絵本の選定の中で、選書の根拠を明確にしたり、環境構成から絵本の有効性を考えたりと分析を繰り返し行い、絵本の重要性について考えた。今後も、発達に沿った絵本の選定を強化していきたい。
子どもの発達に応じた絵本の選定から分析から適切な絵本の選定となっている		
言葉の分析	3	歳児ごとに、個々の今の育ちを明確にしなが言葉についての理解度、舌の使い方、生活を通した様々な角度から個々に沿って分析を繰り返し、言葉に対する意識、個々に合った援助を話し合いを重ねて導くことができた。今後も続けていく。
育ちを通して、子どもとのかかわりの中で個々の育ちに沿いながら一人一人に適した言葉を通した援助を明確にする		
体罰について	3	体罰における概念を職員間ですり合わせた後、自己肯定感を育てる声掛けは何か。どのようなかわりが望ましいか、園としてどうあるべきかを考えることができた。
体罰の概念、体罰がもたらす影響から園の在り方を考える		
個人情報について	3	個人情報に溢れている保育の中で、プロとしての意識を持ち様々なケースを考えながら個人情報を守ることができるよう、テストや話し合いの場を重ねたことで努めることができた。新たな職員も今後入社していく中でより一層個人情報への意識を高めていく
職員一人一人が、プロとして個人情報にまつわるものの管理ができる		
午睡による事故(SIDS)防止	3	事故時の対処のみならず、心地よい睡眠、午睡時の睡眠のチェックの仕方について確認することで、意識の変化が感じられた。
睡眠のOJTを一人一人が理解をし、SIDSの防止策を職員で学び、日々実践する		

【総評】

日々見守ってくださっている地域の方々、ご理解いただいている保護者の皆さまに感謝を申し上げます。育ちを通して、様々な角度から保育というものを考えていきました。そこで得た知識や実践から得られたものを生かしなが乳児期に培われるさまざまな力が、この園でその子らしく育つことができるよう、個々の育ちに沿った援助、環境を職員一同で考えていきます。今後ともよろしく願いいたします。

令和2年4月1日
園長 村上 愛織